



AKO



ククク……

待っていたぞ……
悪魔祓いよ

神父さまの
身体から
出て行け!!!

卑しい
悪魔め!!

俺の名はアレン
悪魔祓いを
生業としている

悪魔とは
心の隙に
つけ込んで
取り憑いては
魂を持ち去る者

アレンさま

熱心にお祈り
されていますね
今日もお仕事に
行かれるの
ですか？

このかたは
俺の通っている
教会の神父さま

ええ

今日の悪魔は
厄介そうなので
少しでも
神のご加護が
あればと思ひまして

それは……
どうぞ
お気をつけ
くださいませ

神はあなたを
お守りくださる
でしょう

神父さまは
穏やかで聡明
分け隔てなく
皆に優しく

そして
誰よりも
信仰心の
あつい方だった

厳しい悪魔祓いを
これまで無事に
続けられたのは
神父さまの
祝福のおかげだ

……その方が
悪魔などに
取り憑かれる
はずがない!!

卑怯な手で
陥れられたに
決まっている……
絶対に許さんぞ!!!

ほう……?!

お前の目には
この者は
そう映るか

……まあいい
この者を解放して
やらんでもないが
ひとつ条件がある

なに……!?

俺と交尾しろ

悪魔祓い

はあ...

は...!?

!?



チツ……
戯言が!!

悪魔の話に
本気で
耳を傾ける
とでも思うか!?

クク……
なんだ?
威勢の割に
手段は
選ぶのだな?

スウ……

これは
この身体の
望みでも
あるのだぞ?

何だと……!?

ククク……
お前には
想像も
つかないか

この者が

レロオ……

まあ……

どれだけお前に
恋焦がれ……

こんなふう

お前に
抱かれるのを
想像
しながら……

いほ……

んんん



聞け!!
悪魔祓い!!!

この男の
心の隙間は
お前が原因だ……

責任を
感じるならば
俺の要求に
応えるがよい!!!



はあ

渴望した
この身体に
注がれる
お前の精……
さぞ美味だろう

俺は
魂は喰らわぬが
人の精を糧と
していな

嫌だと
言ったら？

そうさなあ……
俺が満足するまで
手当たり次第
雄を漁るしか
あるまいな

……もつとも
その頃には
この者の身体が
どうなっているかは
知るまいが

ギ

ニッ

いいか？

神父さまを
少しでも
傷つけてみる……
すぐに祓って
やるからな

クク……
それは
お前次第
だろう？

せいぜい
優しく
してくれよう？

まあ……♡



ハヤ...

はあ...

...くくく

スル...

おん...

くくく

中身が何だろうと
身体は
神父さまのものだ

案外丁寧に
やるのだな
てつきり
その猛るモノを
突っ込んで
終わらせるものと
思っていたが?

ぞんざいに
扱うわけには
いかない



クク……
よい心がけだ

快樂が長引けば
吐き出される精も
また美味という
ものよ

はあ

はあ

あ

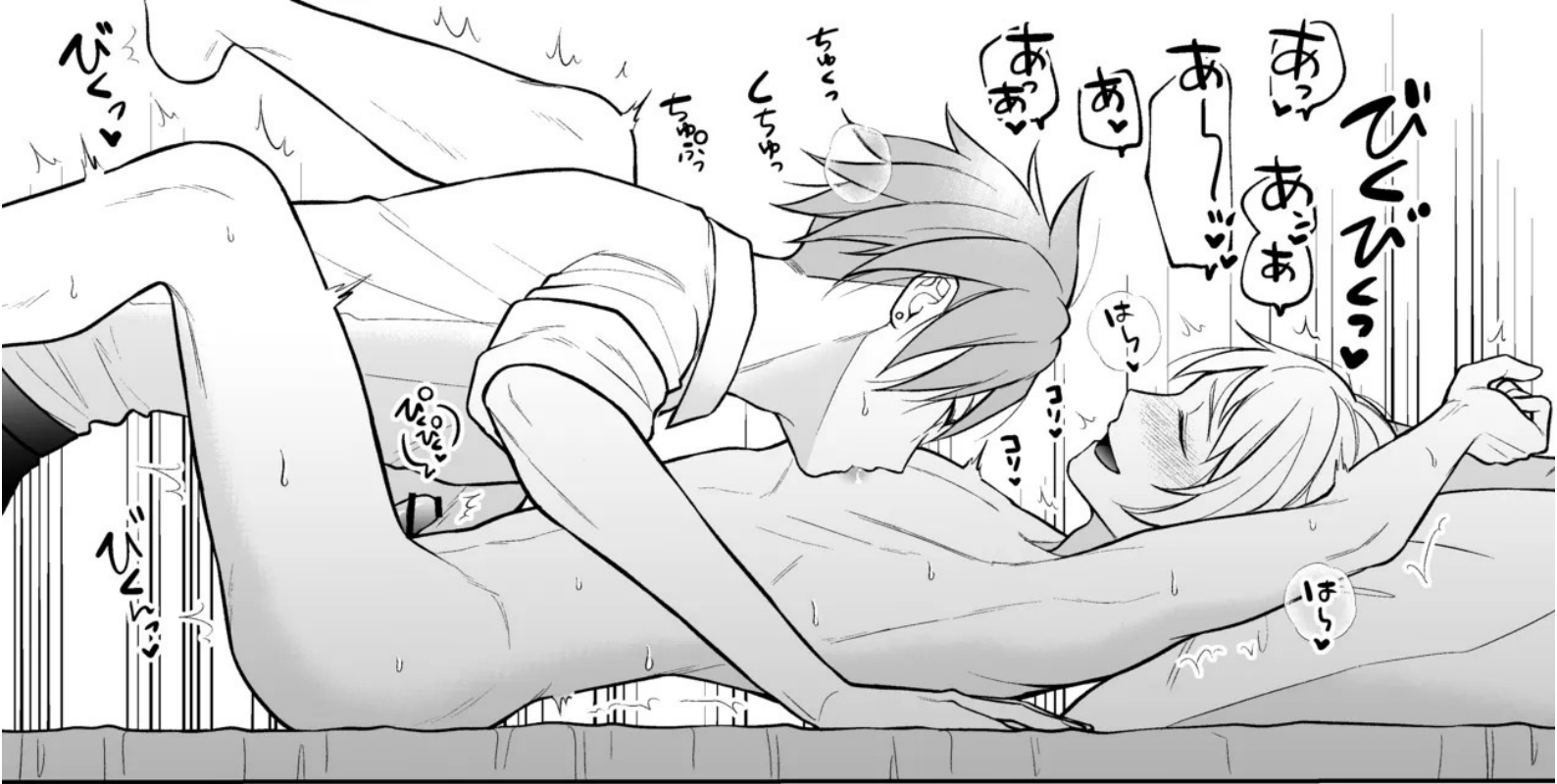
あ

なんだ
不服そうだな？

人間の雄は
このような姿に
興奮するので
あろう？

チツ……
悪魔の癖に
無防備な
奴め……

中身が
貴様で
なければな



なんだ……
つれない
反応だな



この身体は
感度が高いな……
お前に触られて
だいぶ喜んで
いるようだ……

クク……
お前は相当
愛されているぞ？

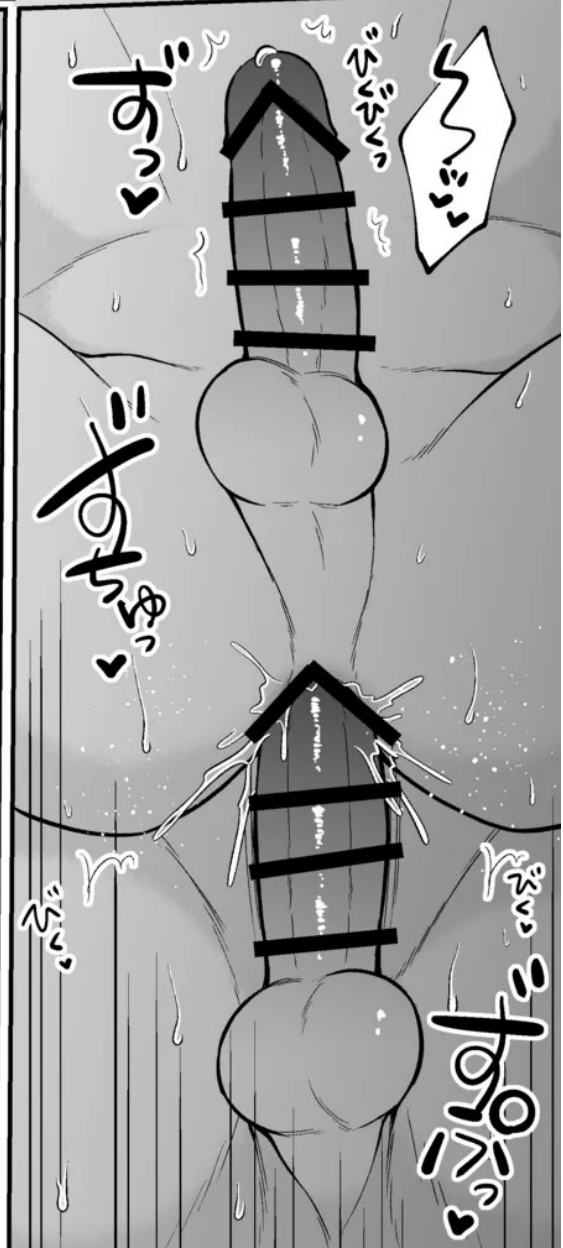
黙れ！

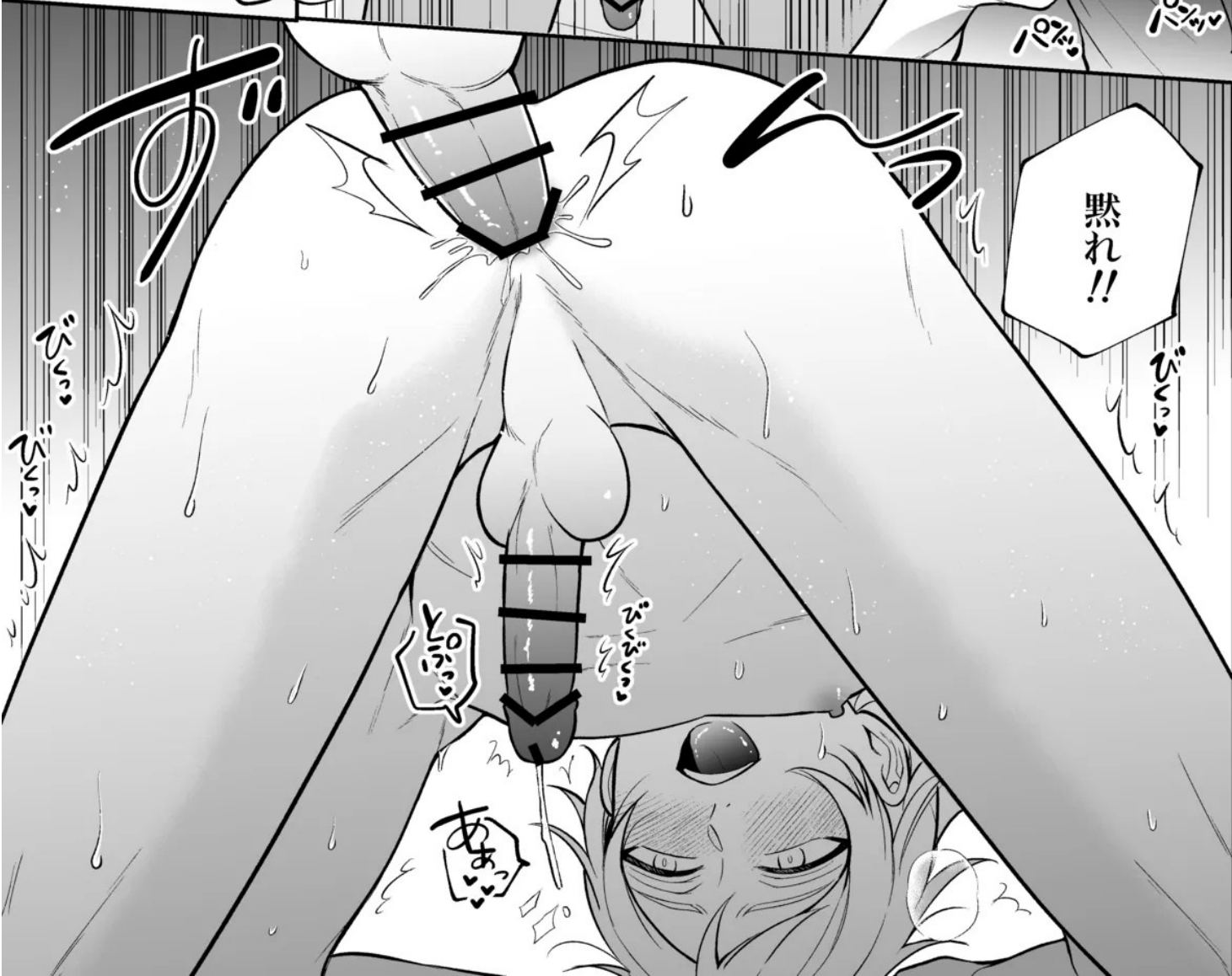


アレンさま
私の気持ち……
ご迷惑だった
でしょうか？

ばっ

どうだ？
なかなかの
名演技だろう？







消えろ!!
悪魔め!!!

ぼん

ぼん

あ

ぼん

ぼん

フーッ

フーッ

そのためなら
手段は
選ばない!!

とつとつ
お前を祓って
神父さまを
取り戻す……

びん

びん

あ

あ

あ

びん

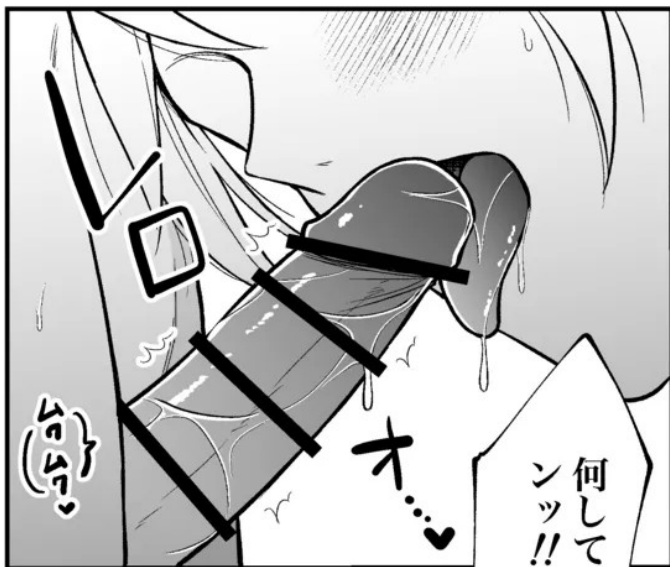
びん

びん

びん

びん









美味しい……♡

は……♡

は……♡

は……♡

お

ほんっ♡

お

は……♡

とろん……♡

こんなに美味しいのは初めてだ……

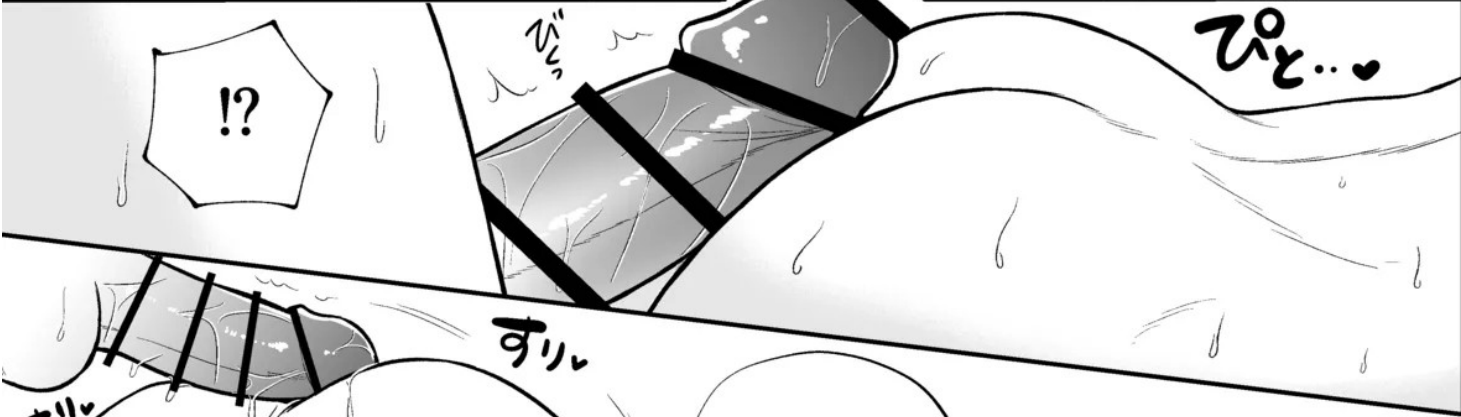
恋という感情は……悪魔までをも狂わすのか……



は……♡

は……♡

は……♡



!?

ぴと……♡

びん



なあ……もっと注いでくれ……♡

はあ……♡

はあ……♡

フリ

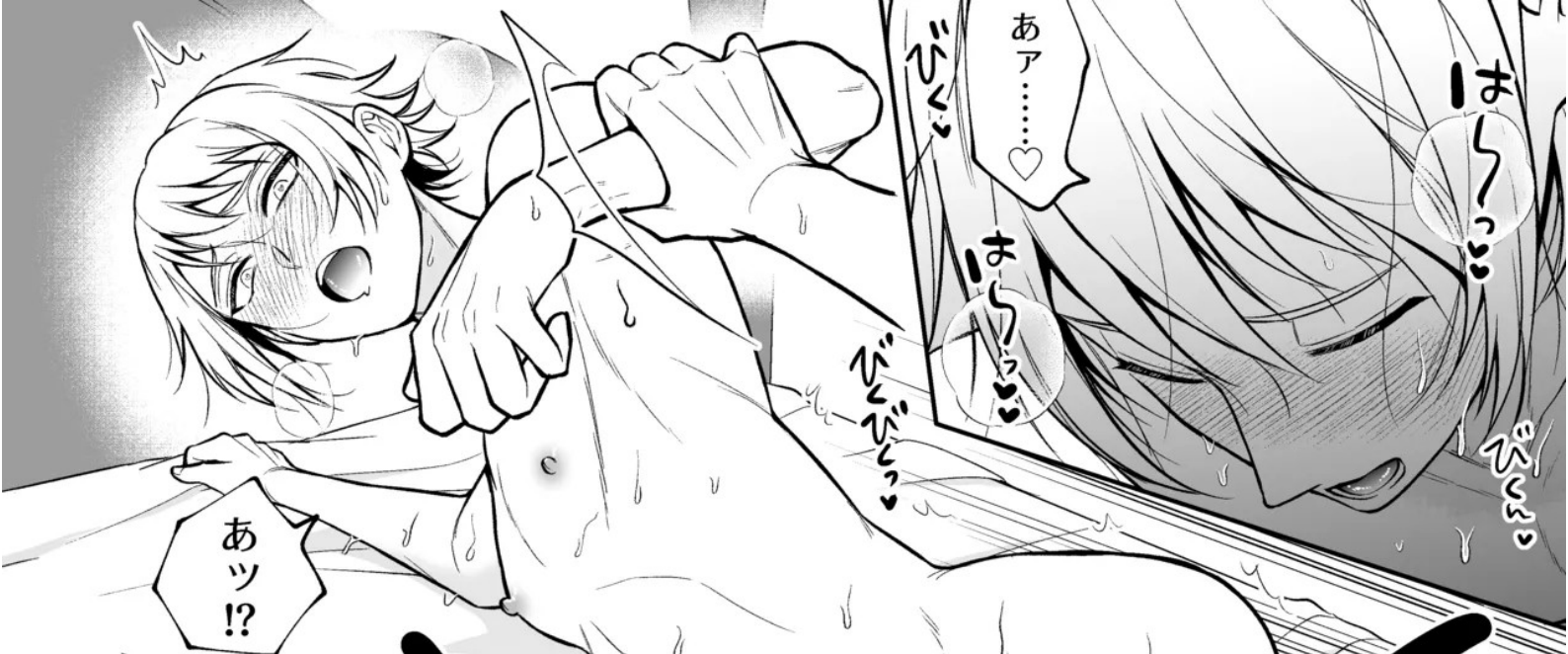
フリ



.....
クソ!!!



おら
へばんじゃねえ!!
ちゃんと絞めろ!!!



あッ!?

ああ……♡

はっ
びっ



もう騙されないぞ
悪魔め!!

ほら
大人しく
足を開け!!!

待て!!

もういい!!
もう満足だ!!!



むりだ……ッ

これ以上は……
死ぬッ……♡



あつ……
アレン
さまッ……!!?

これは一体
どういう状況
ですか……!!?

!!!

……神父さま!!
意識がお戻りに
なられたのですね!!

……その
信じがたい話とは
思いますが

あなたは
悪魔に取り憑かれ
……少々荒療治を
させて頂きました

………そ
うなのですね

それは……
その……

……あなたが
仰ることは
きつと
正しいので……

……その
ありがとう
ございます……

か……

私はもう
大丈夫です

はー…

アッ…

はー…

……その
恥ずかしいので
服を着ても？

アッ

あっ!?

アレンさま!?

やあっ

なんでシ!?

神父さま!!

こんなに
なるまで
俺を想って
下さるのなら

ポクッポクッ

ポクッ

あ

あ

どうして……
言って
くれなかったん
ですか……!!!



ッ……
それはッ……

あ

あ

……信仰に
身を捧げた私に
あつてはいけない
感情なので……

パッパッ
パッパッ



あ

そんなものが
なんだって
言うんですか!!

俺への感情は
あなたにとって
罪だとも!?

パッパッ
パッパッ



ああ……

神よ……

はっ

バンッ

はっ

はっ

バンッ



今あなたが
締るべきは……

神ではなく！
目の前にいる
俺でしょう!!

はっ

はっ

バンッ



俺に委ねて!!!

ロア!!!

はっ

はっ

あ名前……



はあ

はあ

覚えていて
くださつたの
ですか……？

あなたが俺を
受け入れないと
いうならば!!



のびん

のびん



わあ

びん

俺の覚悟が
伝わるまで
何度でも
あなたを
犯しますッ!!!



ロアア……!!
愛しています!!!

ロアア!!

ロアア!!



あなたを……

ぎゅー

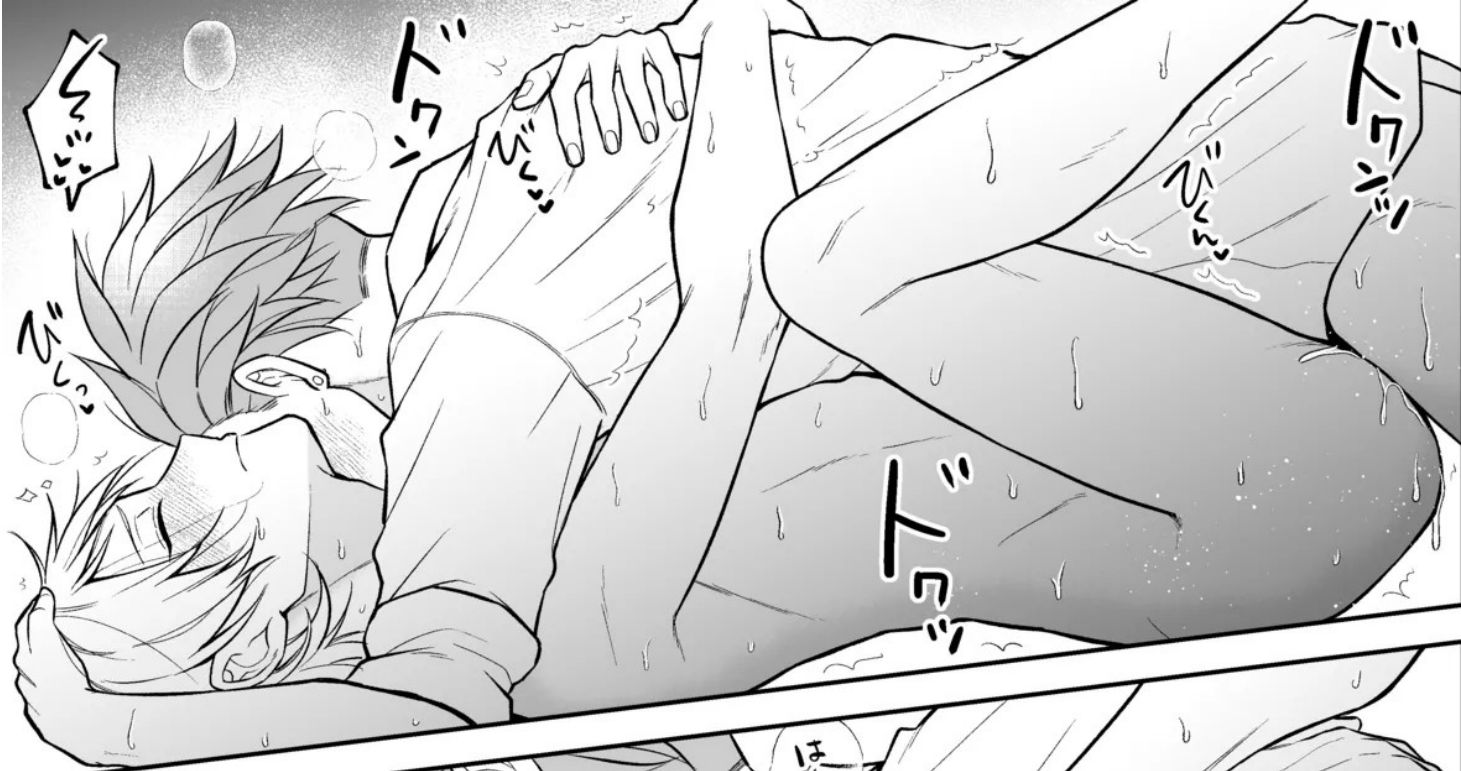
……ああ

はあっ

はあっ

アレンさま

ずっと……
お慕いして
おりました



……ロア
あなたを
こうして
しまった責任

俺に……
取らせて
下さ……

——あれから
1カ月後

俺は変わらず
悪魔祓いを
続けている

人の心に
隙がある限り
俺の戦いは
終わりはない

アレンさま……

……ひとつ
変わったのは

可愛い恋人が
出来たことだ

……その

帰っていらした
ばかりですが……

フ……

ドキ

ドキ

……
一秒でも早く
あなたに
会いたくて

気合いを入れて
今日の仕事を
終わらせたんです

そんなこと
言われたら……
ずるいです……

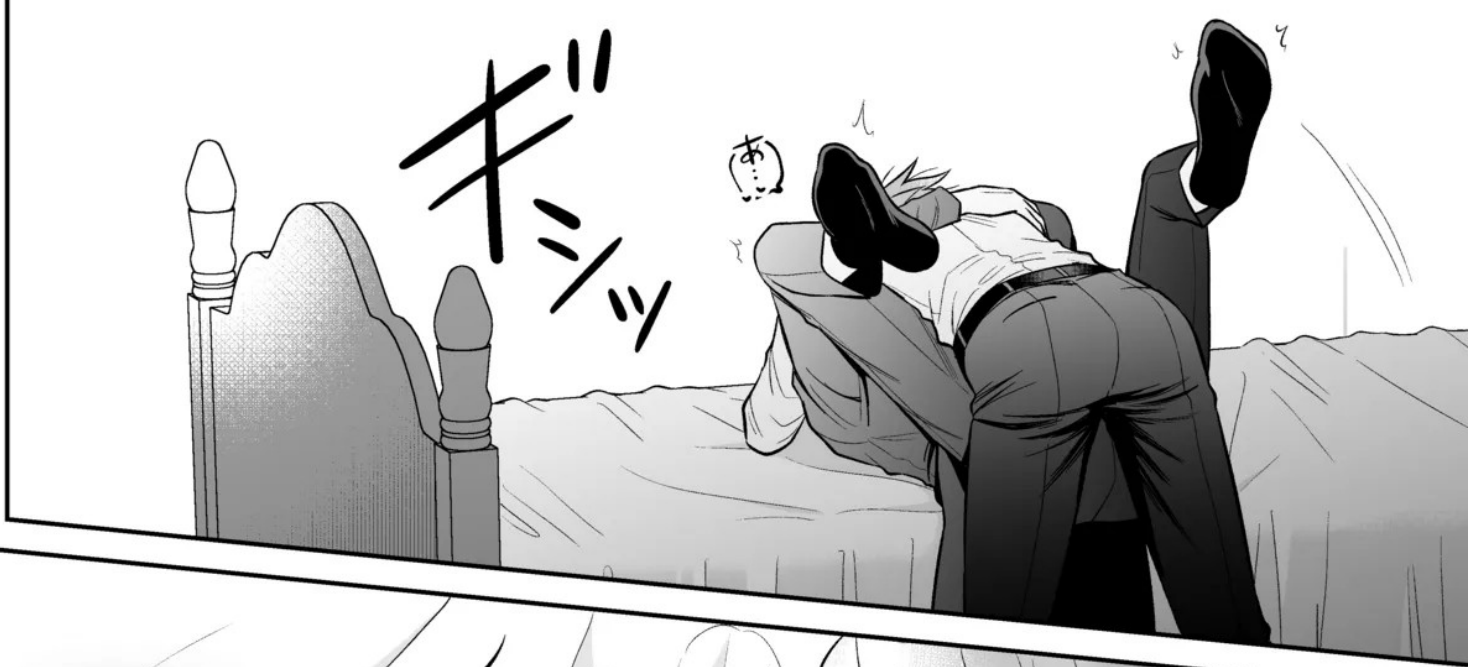
はあ……

……いけませんか？

フ……

はあ……

フ……



……少しだけ

あの悪魔に
感謝しないと
いけませんね

何か
仰りましたか？
ロア？

ふふ……
なんでも
ありません

今日も
たくさん
愛して下さいね
アレンさま……

お読み頂き
ありがとうございました！
AKO

【Pixiv】<http://pixiv.me/akoacm>



そういえば
アレンさま

悪魔に
取り憑かれた私は
どのような感じ
だったのですか？

いきなり
何を……

……そうですね
卑猥で
奥ゆかしさもなく
ロアとは
まるで別人でしたよ



卑猥……
卑猥ですか

……こんな
感じですか？

アア...



それ以上は
やめて下さい
ロア……

加虐心が
疼きます

ククク…
原凶

えっ？？？

原凶



アレンさまは
どんな色が
好きですか？

色ですか？
そうですね……



それぞれの
良さがあるので
選べないですね

黒には
クールで
どこことなく
静かな良さ

白には
清純で
爽やかな良さ

青や赤
緑なんかも
それぞれ
魅力的だと
思います

なるほど……
それも
そうですね



……では思い切って
全ての色の
ランジエリーを
注文しますね！

頑張りましょう♡
アレンさま♡

待つてえええ
ロア！

その行動力は
本当に
どこから？！

かた



初めては痛い
聞いていたの
ですけれど

痛いどころか
とても気持ち
良かったので
驚きました

アレンさまが
お上手だから
だったの
でしょうか？

あ〜……



その……
恐らくですが
それは……

あなたが
起きる前に
……つい
やり過ぎた
せいですね……



……!!!
具体的に
どんな感じ
でしょうか!?
私にも実践して
貰っても!?

勘弁して
下さい
ロア……!!

ニヤニヤ

ゴ

ニッ



彼はいつも
熱心にお祈りを
していました



教会に
悪魔憑きの
報告があると
対処に
向かわれます

最近この辺りに
配属された
悪魔祓い師——
名前はアレンさまと
いうそうです



……強い方
なのですね



受けた仕事は
必ずこなすそうで
彼に救われた
という喜びの声は
何度も聞きました

ある夜
一日の勤めを終え
教会を閉めようと
した時

キィ

〇〇

……？
誰かまだいる



ドキ……

……あの

大丈夫
ですか？

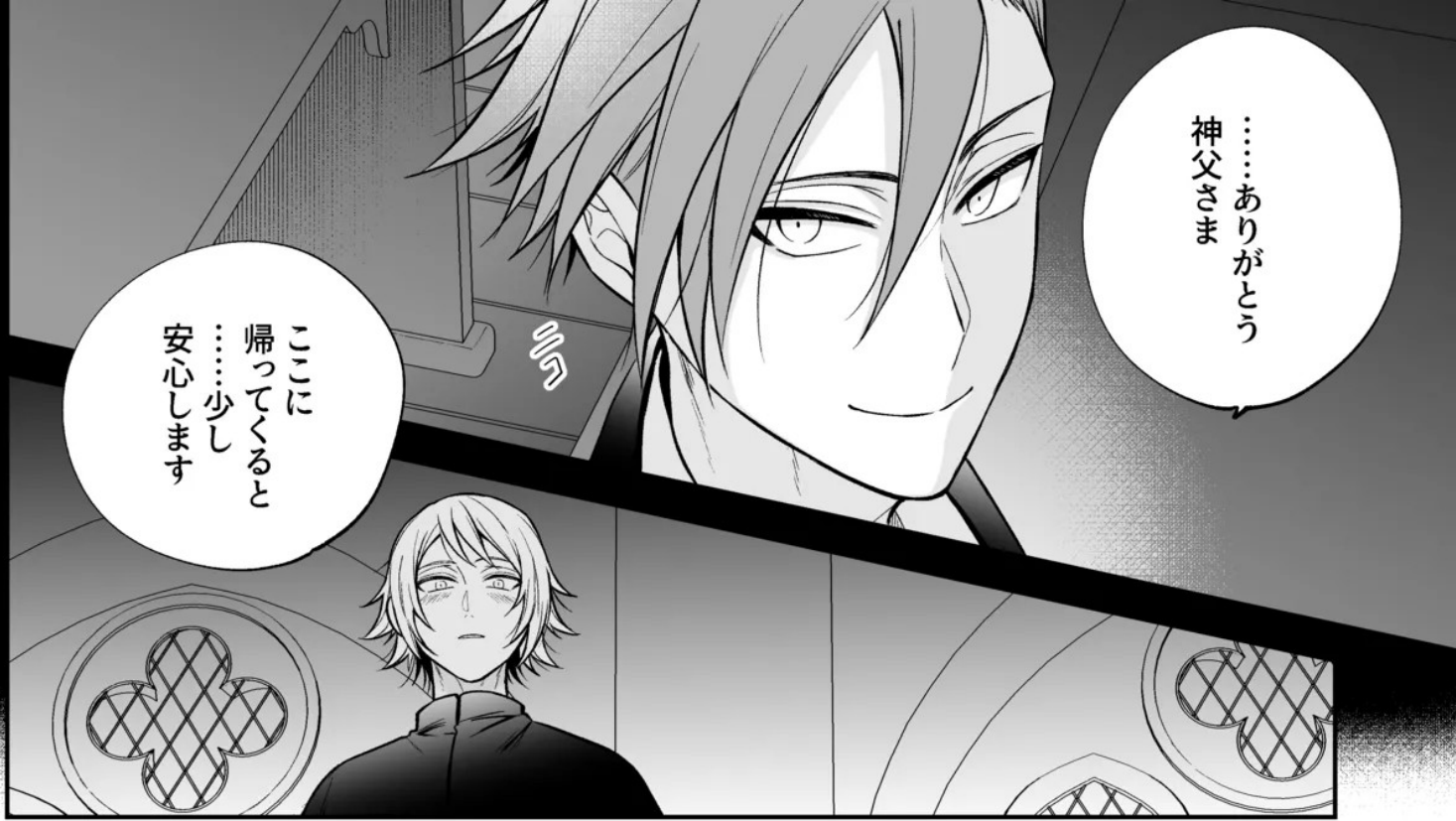
……あ
すみません
閉める時間
ですか？

お気になさらず
教会はいつでも
迷える方を
受け入れて
いますから

ハッ

ツツ

ツツ

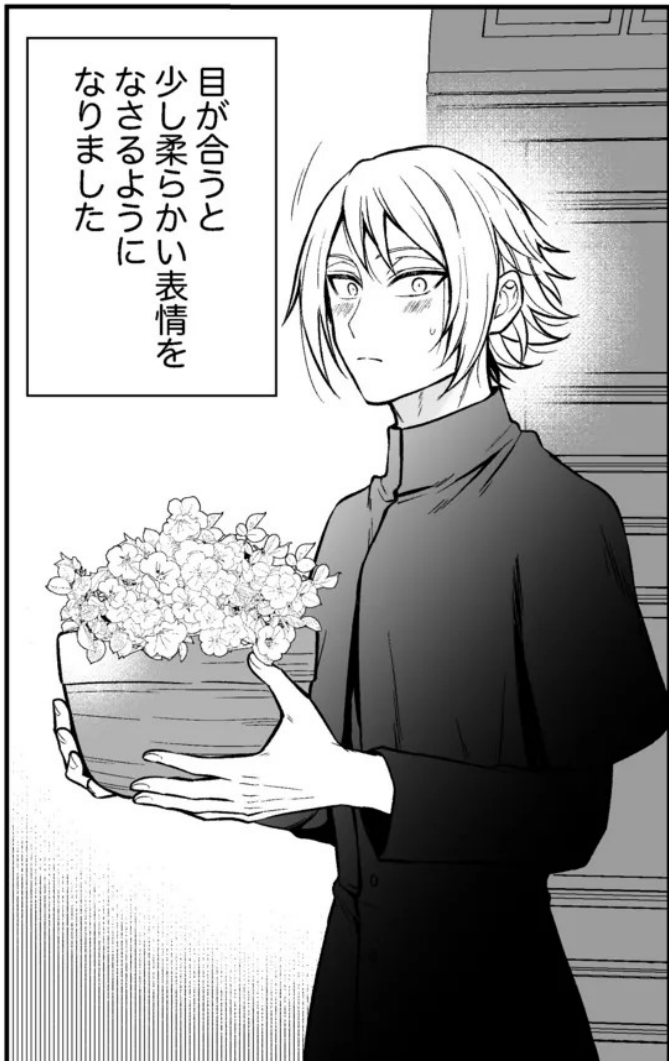


……ありがとう
神父さま

ここに
帰ってくると
……少し
安心します

私は
たまたまなく
惹かれて
しまいました

彼が見せた
ほんの少しの
弱さに



目が合うと
少し柔らかい表情を
なさるように
なりました



あの日から
アレンさまは



……この感情は抱いてはいけないもの

私は神に全てを捧げた身なのだから

……でも

アレンさま

あなたの真剣な眼差しで見つめられるのはどんな気持ちでしょう

その熱いもので貫かれ……あなたの情熱が私だけに注がれるとしたら？

頭ではわかってはいるが

理屈も信仰も忘れるくらいどうしようもなく恋をしてしまった

……これはいけないこと

……

つろろろ

あ

んん

んん

んん



あっ……

アレンさま……

アレンさま……

はっ……



はあっ……
はあっ……

はっ……

はっ……

……



アレンさま……
あなたが
救いを求めるのは
神の使徒たる
清廉潔白な私

こんな淫らな
私を知ったら
あなたはきっと
軽蔑する
でしょうね

それは……
どうぞお気をつけ
下さいませ

神はあなたを
お守りくださる
でしょう

今日の悪魔は
厄介そうなので
少しでも
神のご加護が
あればと思ひまして

アレンさま……

今日も
素敵でした

……一度
だけでも
愛されてみたい

……なんて願望
抱くことすら
罪ですよ

……



その願い
俺が叶えて
やろうか？

愛する者と
身体を重ね
その精を注がれて
みたくはないか？

神……
ではない

では
悪魔……？

その身体
俺に預けよ……
さすればその願い
叶えてやろう

そんな戯言
聞くわけッ

……

ふと
思っ
しまった

正義感の強い
あの人は
きつと
来るのでは
ないだろうか

このまま
叶わない
恋ならば
いっそ……

!!!

